

新潟・下ノ西遺跡^{しものにし}

- 1 所在地 新潟県三島郡和島村大字小島谷
- 2 調査期間 一九九八年度調査 一九九八年(平10)八月～二月

- 3 発掘機関 和島村教育委員会

- 4 調査担当者 田中 靖

- 5 遺跡の種類 官衙跡

- 6 遺跡の年代 八世紀前半～一〇世紀前半

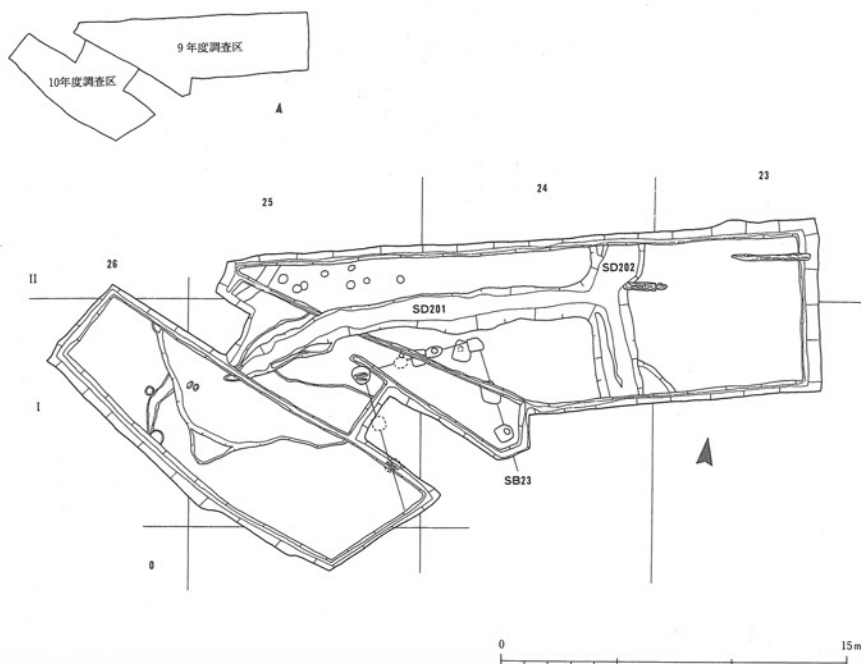
- 7 遺跡及び木簡出土遺構の概要

下ノ西遺跡は、島崎川低地の微高地に立地する。北側には島崎



(三 条)

川・小島谷川・梅田川の合流点を控え、北陸道が付近を通過するなど、水・陸上交通の要衝の地にある古代遺跡である。周辺には同時期の遺跡が高密度に分布し、北西八〇〇mには、古志郡衙に関連するといわれる国指定史跡八幡林官衙遺跡が



遺 構 図

